

発行 豊頃町  
〒089-5392  
中川郡豊頃町茂岩本町125番地  
☎015(574)2216  
発行日 2013年3月1日  
編集 豊頃町企画課広報情報係  
豊頃町社会福祉協議会

今月の表紙



今月の表紙は、2月13日に豊頃小学校で行われた豊小フェスティバルで古い師に扮した子どもたちの写真です。手作り感あふれる楽しいイベントでした。

役場などの連絡先

- ◆役場  
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)  
総務課 .....☎(574)2211  
出納室 .....☎(574)2212  
住民課 .....☎(574)2213  
福祉課 .....☎(574)2214  
施設課 .....☎(574)2215  
企画課 .....☎(574)2216  
産業課 .....☎(574)2217  
農業委員会 .....☎(574)2218  
議会事務局 .....☎(574)2222  
教育委員会(教育課) .....☎(579)5801  
(図書館) .....☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関  
大津支所 .....☎(575)2021  
こどもプラザとよころ .....☎(574)3931  
給食センター .....☎(574)4600  
社会福祉協議会 .....☎(574)3143
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口  
NTT 東日本データセンター ☎0120(860)023  
[24時間 365日受付]

ホームページ

豊頃町  
<http://www.toyokoro.jp/>  
豊頃町社会福祉協議会  
<http://www.h3.dion.ne.jp/~toyo-sha/>

豊頃町の人口と世帯

1月31日現在(前月比)	住民基本台帳に基づく
人口 3,498人(+5)	
男 1,672人(+2)	
女 1,826人(+3)	
世帯 1,506世帯(+7)	

町内の交通事故

平成25年1月1日 ~2月10日(前年比)	
交通事故死ゼロ15日	
発生 1件(+1)	
死者 2人(+2)	
傷者 0人(0)	

目次

CONTENTS

- 02 クローズアップ人  
雑貨Q店主 千葉 千栄美 さん
- 広報とよころ
- 04 Info-TOPICS①「4月14日は豊頃町長選挙の投票日です」  
05 Info-TOPICS②「後期高齢者医療制度～保険料のお支払いについて～」  
06 Info-TOPICS③「国民年金からのお知らせ」  
07 Info-TOPICS④「町外通勤者助成金交付申請の下半期分を受け付けます」  
08 はるにれは見ていた「ふれあいコンサート」ほか  
12 豊頃医院だより「糖尿病の治療成績 2012年」  
ダイナ ダイジェスト  
13 駐在だより「ちょっと待って!!その振込み」ほか  
地域安全ニュース「盗難事件に注意!」ほか  
14 みんなの図書館「2013図書館フェア春」ほか  
16 町民文芸 - 我が家のアイドル

社協だより

- 17 表紙「ふれあいフェスティバル」  
18 新社協役員が決まりました  
19 ふれあいフェスティバルが開催されました。  
20 共同募金・歳末たすけあい募金  
22 トヨッピー社長特集  
23 ふれあい昼食会 - 生きがいデイサービス  
ほっとサロン  
24 町理事者と社協理事者懇談会 ほか  
25 社協会長杯ゲートボール大会 ほか  
26 福祉車両 - とよころボランティアのつどい開催!  
社会福祉協議会は民間の福祉団体です。

役場だより

- 27 INFORMATION ◎目次あり  
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 「ボランティアのつどい」  
「とよころ物産直売所平成25年度出店者募集」



ものづくりの発信の場にしていきたい

店内に一歩足を踏み入れると、欧風の雰囲気にも包まれたおしゃれな小物が並ぶ。ショーケースに心をくすぐられます。皆さんは手づくりの陶芸品やガラス作品などの小物を取り扱うお店『雑貨Q』をご存知でしょうか?

店主は清水町から豊頃町の統内地区に移り住んできて3月でちょうど1年になる千葉千栄美さんです。

「自然が豊かで、まさに『十勝』。いつも天気が良くて、開放感があつてすぐに好きになりました。冬の朝の空気がおいしい」と



千葉 千栄美 さん  
Profile ちば ちえみ  
昭和40年12月5日生まれ。新潟県出身。とがるね内に店を構える『雑貨Q』店主。家族は夫と娘と猫が2匹。

感じたのも、豊頃に来て初めてです」と町の印象を話してくれました。  
以前は清水町でインターネットによる雑貨の販売をしていた千葉さん。家に在庫を置いて販売していましたが次第に手狭になり、その家の設計者で、とがるねの代表でもあった加藤義隆さんに改築を依頼したところ、「それならば、とがるねにお店を出してみませんか?」と声を掛けられ、お店とともに移住されたそうです。当初はネットショップをメインで考えていたこともあり、インターネット環境が整備されていたということも豊頃町に移住する決め手のひとつになったそうです。  
夫の貴一さんはIT系の仕事をしていて経験を生かして、お店のホームページの運営や機材の管理をしており、「イベントなどがあると、照明の取り付けなどもお願いするんですよ」と笑顔で話すその姿からも、夫婦仲の良さを垣間見ることができました。  
ロンドンでの学生時代に販売員のアルバイトを経験し、卒業後はイギリスの保険会社に就職した千葉さん。その当時、趣味でやっていたCG(コンピュータグラフィック)作品が評価されたのをきっかけにCGデザイナーへ転職しました。



その際、仕事柄、様々なアーティストと触れ合う機会がありました。その時感じた、「才能があるのに、それだけでは食べていけず厳しい生活をしているアーティストたちを目の当たりにして、そういう人たちの応援をしたい」という思いが、手づくりの雑貨を取り扱うお店を始める原点になりました。  
イギリス在住時に再認識したのは、日本の文化・芸術・技術などの素晴らしさ。「古くから培われてきた伝統的なものから現代の手作り品まで、日本人は手先の器用さ、繊細な感性と創意工夫で世界に通じる素晴らしい作品を生み出してきました」と千葉さんは言います。  
そういうものに出会うきっかけになれたら嬉しい。通販だけでなく実店舗を持ったのにはそんな思いが込められています。  
「ものづくりに励むアーティストの中には、販売が苦手な方もいます。そんな人たちが、よりものづくりに集中できるように、販売や広報担当としてこの小さなお店がお手伝いできたら、そしてお客さんに素敵な手作り品を楽しんで頂けたら嬉しい限りです」と話す姿は、とても生き生きと見えました。